

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 1 月 13 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2024 年 12 月 18 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ノーザン州立大学(日本語名) Northern State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024 年 8 月～2024 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	1 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月上旬～5 月上旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	3711
創立年	1901

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	3,269.00	円	
食費	1,681.00	円	
図書費	0	0 円	
学用品費	50.00	円	
携帯・インターネット費	0	0 円	
現地交通費	0	0 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	10.00	円	
旅費(留学中)	500.00	円	
被服費	100.00	円	
医療費	0	0 円	
保険費		61,080 円	形態: 明治大学指定の保険
渡航旅費		710,000 円	
ビザ申請費	510.00	円	
雑費	100.00	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	6,220.00 (=933,000 円)	771,080 円	
総計(A+B) ※円		1,704,080 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：アバディーン 経由地：ミネアポリス

復路 出発地：アバディーン 目的地：羽田 経由地：ミネアポリス、サンフランシスコ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：DELTA 料金：350,000

復路 航空会社：JAL 料金：360,000 ∴合計：710,000

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名： 航空会社のホームページ)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前： GPW Great Plains West) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学からのメール

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

留学生のほとんどは GPE に滞在しており、私も第一希望は GPE でしたが実際滞在してみると特に不満もなく快適に過ごすことができました。私の部屋は 4 人部屋で 2 人ずつベッドルームが分かれているタイプでルームメイトは皆現地のアメリカ人でした。特別仲が良くも悪くもないぐらいの関係でみんなそれぞれで生活し、外であつたら挨拶する程度でした。GPE と GPW はそれぞれメリットとデメリットがあり、GPE は一階にコンビニが併設されていて、各階の交流スペースが多くボードゲームや Wii が置いてあるが、シャワートイレはフロアで共有のため部屋から出るのが少し面倒です。また、現地の人によるいたずらでトラブルがあることもありました。一方私が滞在していた GPW は各階にキッチンがあったため自炊をする際に便利でした。多くの人が GPE の方で友達と会ったりみんなで勉強したりするので GPW のほうが感覚的に静かで落ち着いていると思います。デメリットとしてはコンビニが併設されていないので冬に GPE まで歩くのが寒すぎて大変でした。他にも一人部屋の寮もありますが上記の二つが新しく人気だと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

周囲で銃撃事件や寮内でのトラブルがあれば学校がメールで知らせてくれます。私は特にトラブルに巻き込まれることなく安全に過ごせましたが、2 回ほど学校付近で銃事件があり、のどかで安全な場所でも油断はできないと思いました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネットの接続で困ることはありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

口座は開設せず日本で両替した現金と主にクレジットカードで支払いをしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

ウォルマートにいけば大抵のものはそろいますが、持ってきて便利だったものはインスタント味噌汁とパックご飯、お茶漬の素また、お好みソースがあればお好み焼きも作れます。パン粉やみりん、ラーメン、餃子の皮も売ってあるので日本で食べているものの多くは自炊すれば食べられると思います。また、常備薬や風邪薬、箸は必要だと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Design I 2D	2D デザイン
科目設置学部・研究科	ART
履修期間	2024 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 3 回
担当教授	Tim Rickett
授業内容	コラージュやアクリル絵の具で作品の製作。カラーセオリーや構成についての講義もありデザインの基礎から学ぶことができます
試験・課題等	試験は授業内容についての簡単なペーパーテストが二回ほどあり、二週間に 1 作品の目安で新しい課題に取り組んでいきます
感想を自由記入	この授業はせっかくなら明治で履修できないものを取ろうと思い取った授業です。デザインには興味があったのですが勉強する機会がなかったのでせっかくだからと軽い気持ちで取ったのですが一番楽しい授業でした。人数は 20 人ほどで現地の学生が多く製作した作品の講評を話し合ったりみんなの前で即興で発表したりする場面では苦労しましたが、アメリカ人の意見を素直に言い合う姿勢には刺激を受けました。期日に間に合わせるために授業外で製作に取り組むことも多くありましたが、好きなことだったので私は苦に感じませんでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Foundations of Communication		コミュニケーション基礎
科目設置学部・研究科	CMST	
履修期間	2024 秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Meng Tian	
授業内容	人前で自信をもってスピーチができるようになるということがゴールの授業で、グループワークを通じスピーチをする上で大切な要素について学んでいく	
試験・課題等	4 回ほどのスピーチとレポートが一つ	
感想を自由記入	この授業は担当する教授によってスピーチを行う回数や授業内容が変わるので、最初の履修登録期間のうちに授業に出席して雰囲気をつかむことをおすすめします。私の教授は中国人の先生でしたが英語も聞き取りやすく優しい先生でした。スピーチは何度やっても緊張はしましたがだんだんと英語がすらすら出るようになり、はじめと比べると自信もついたと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Sociology		社会学入門
科目設置学部・研究科	SOC	
履修期間	2024 秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Pamela Monaghan-Geernaert	
授業内容	人種、貧困、ジェンダーなどについてパワーポイントを使い講義形式で行われる	
試験・課題等	試験はオンライン上で 2 回あり、レポートやオンライン上のディスカッションポストがいくつかあった	
感想を自由記入	この授業はオンライン上で授業の大切なポイントがまとめてある動画を視聴できたり、テストも決められた期間内ならいつでも回答できたりしたのでとても柔軟性が高かったです。レポートは教科書が必要でしたがネットで調べたら同じものが見られるので購入しなくても大丈夫です。アメリカで学ぶ社会学は日本で学ぶものとは違うところがあったので興味深かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
United States History II	アメリカ史 II
科目設置学部・研究科	HIST
履修期間	2024 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Ric Dias
授業内容	ホワイトボードへの板書で講義形式で南北戦争から 1980 年代にかけてを学ぶ
試験・課題等	試験は二回とレポートが一回
感想を自由記入	この授業は一番留学生が多く、私も先輩方の留学報告書を見てこの教授の授業を取りました。この先生はとても留学生に親切でユーモアがある方で、ホームパーティーにも呼んでくれるのでアメリカ史を取るならこの先生がおすすめです。授業もジョークを交えながらで面白かったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)
☒ 就職 ☐ 進学 ☐ 未定 ☐ その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。 ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	留学出願、面接
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	ビザの取得、航空券、留学準備、ワクチン接種
	8 月 ～ 9 月	留学開始
	10 月 ～ 12 月	帰国
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

正直この大学は私の最終希望の大学でしたが、ここに来て本当に良かったと思っています。初めはそもそもサウスダコタ州がどこかも全く分からず、調べてもとても田舎で留学生活のイメージができないまま渡米したのですが、実際過ごしてみるとキャンパスは自然豊かで駆け回る動物たちにも癒され、少し歩けばスーパーやカフェ、ダウンタウンにも行けるので不便でもなく、とても過ごしやすいところでした。学校のサポートも充実しておりイベントも多く開催されるので充実した日々を送ることができました。日本人留学生が多い学校ですが課題などの助け合いができたり、日本食パーティーをしたりできるので私にとってはそこもよい点でした。様々な国からの留学生や現地のアメリカ人とも友達になることができたので短い 4 カ月間でしたが人生の中でかけがえのない貴重な経験になったと思います。サウスダコタという場所も旅行ではなかなか行く機会がないところだと思うのでここに留学できてよかったと心の底から今は思っています。